

地域みんなが
繋がるための

ささえあい活動通信

2020.7.1



八木山地区社会福祉協議会
ささえあい活動センター長
伊藤 隆

活動項目 (4/25~6/12)	活動 回数	延活動 者数 (人日)	利用者 数 (人)
ミシン修理	1	1	1
ふる桶水漏れ	2	1	1
樹木伐採	4	10	1
安否確認	6	6	3
ゴミ出し	12	12	2
草取り	7	13	3
塀修理	7	5	1
塀塗装	3	2	1
理髪店付き添い	1	1	1
網戸張り	2	2	1
防草シート敷	4	4	1
壁コーキング	2	2	1
病院付き添い	1	1	1
不燃物処理	4	8	3
日除け幕張り	2	3	1
買い物代行	4	4	1

327枚のマスク製作配布に10人関わる

スプレー缶

活動仲間が言います。

「活動するといろいろ学ぶ。その一つが、スプレー缶・キャンプ用ガスボンベの始末。家の片づけ作業で、数多くの缶・ボンベが出てくることがある。

穴を空けると、あたりに散らばり汚す。始末しにくいものは、購入しない。購入したら、早く始末することだ。」

市 昨年度運転免許返納者

60歳以下 50人・70歳代 273人
80歳以上 227人 計550人
前年度比 283人増

安心して返納できるまちにするために
7月25日(土)・26日(日)福祉
有償運送運転者講習を受講して、さ
さえあい移送の担い手にもなってくだ
さい。受講料は地区社協が負担します。
詳しくは電話 377-3400 ささえあ
いの家 または 090 9902 1907 西
尾まで問い合わせてください。



庭木を全部伐採しました。地域のプロの方の力を借りました。それぞれに思い出がある木なのだろうからと、お神酒とお塩を備え祈禱して作業に入りました。

地主は隣町に転居しておられ、連絡役は隣家の人でした。この人は、私たちに様々な指示をいただきました。引っ越しでもなお、深い関係をもつお二人。このような関係のお隣さんになれるといいなあと思いました。

この家の作業のために、別の隣家の前に駐車し、許しを請いました。「屋根はうちの駐車場が空いているから、ここに止めてもいいよ。」「暑いから気を付けて」とまで声をかけていただきました。ありがたい言葉でした。またこのあたりの人々は心が広く、仲の良い地域なのだなあと思いました。

「不燃物の日オイルヒーターを出したら、収集しないと紙が貼ってあり、連絡先が記されていた。市役所で、大鵬商店へ持って行くように言われた。持って行ってほしい」と連絡があった。収集しない物について、どうしたらよいか分かる。市民にとってありがたいことだと思いました。大量の様々な不燃物を、一つ残らず収集してもらえらることもありがたいこと。

コロナが心配な今は、できる限り戸外でできること、人と接触しない作業を、お受けします。

★送迎 買い物代行をします。

電話 058-377-3400

080-5180-7047



フェンス役に、あけびとブドウが茂っていました。家主の話です。

妻が還暦の時、故郷で同窓会があり、そこで食べたあけびの種をもって蒔いた。それが十数年たってたくさん収穫でき、近隣の人々に食べてもらっていた。

ブドウは、地域の人から、あなたなら栽培できるだろうと言って苗をいただいた。ブドウ栽培をしている人に、栽培方法を聞いた。最初に収穫できた時、苗をくださった人に持って行ったら亡くなっていた。仏壇に供えてもらった。毎年10房は採れた。今は歳を取り介護も加わって、手を入れることもできなくなった。

物語りのある木々でした。



塀の塗装の依頼でした。よく見ると木製の塀の根元が腐っています。この修理が先です。添え木をし、補強しました。

ブロック塀でなくても地震に耐える塀かどうか見極める必要があります。

そして、低いところだけ塗装しました。

